

秦荘中学校 できることから始めよう

1月31日、秦荘中学校の生徒会から役場へ義援金を手渡されました。

この義援金は、1月1日に発生した能登半島地震を受け、生徒会会長 今西 陽さんが校内での募金活動を提案し、生徒会に呼びかけ実現したものです。

そこで、生徒会では、1月15日から26日の月曜・水曜・金曜の6日間、朝の登校時に昇降口で、手作りのチラシや募金箱を両手に、「募金をお願いします」と声を掛け、募金活動を行いました。募金活動には、多くの生徒や保護者の皆さんが協力し、54,100円集まりました。

▼秦荘中学校昇降口前で行われた募金活動



今西さんは「今回の地震に衝撃を受け、自分たちが被災者の方々のために何かできることはないかと考え、生徒会のみんなで協力して募金活動を始めました。これを機に今後も様々な活動にチャレンジしていきたいです」と話してくれました。

生徒会役員の皆さんは「校内のいろいろな人たちに関わっていただき、思った以上に募金が集まって嬉しいです」「新しい生徒会メンバーで取り組んだ初めての活動で、生徒会としてもいいスタートになりました。これからの活動にも活かしていきたいです」と話してくれました。

この募金活動で集まった義援金は、町から赤十字を通じて被災地での支援に活用されます。

▼集まった募金を手渡す生徒会の皆さん



令和6年4月より「愛荘町少年センター」の活動がスタートします!

少年センターでは、非行を未然に防ぐための街頭パトロールや有害図書等有害環境を浄化するための活動、薬物乱用防止や非行防止に資するための教室の開催、相談活動など、少年の健全育成のため各地域から選出の少年補導委員や警察署などと連携を図りながら活動を展開しています。

今までは、「東近江少年センター」として、東近江市と愛荘町を管轄地域として活動していました。しかし、昨今の少年に関する問題は複雑多様化していることから、これまで以上に自分たちの地域を注視し、現状把握と啓発を密にすることで少年の健全育成・非行防止につなげるため、令和6年4月より「愛荘町少年センター」として活動することとなりました。

新しい体制になりますが、住民の皆様とともに取り組んでいきたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

◆連絡先◆ 愛荘町少年センター

住所：愛荘町安孫子825番地（愛荘町役場 秦荘庁舎1階）
 連絡先：☎・FAX 0749-37-2837
 開設時間：月曜日～金曜日（祝祭日を除く）8:30～17:15



人推協だより
 ほっと・あい 第215号

愛荘町人権教育推進協議会
 問（事務局）教育委員会生涯学習課内（秦荘庁舎）
 ☎0749-37-8055 FAX0749-37-4192

事業所・団体向け
 人権啓発DVDを貸し出ししています。

商工観光課では、事業所や団体の人権学習教材としてDVD等を無料で貸し出ししています。今年度も、新たに作品を購入しました。ぜひ、職場等の人権研修等にご活用ください！詳しくは、町商工観光課（☎0749-37-8057）までお問い合わせ下さい。

タイトル	内容
<p>「大切なひと」</p> <p>DVD・34分 作品</p>	<p>現代におけるインターネットは、利便性が高い反面、誤った偏見や差別的な情報が発信されたり、見ず知らずの第三者からひどい誹謗中傷を受けたりするなど、深刻な人権問題となっています。この作品では、主人公愛依の友人が被差別部落や在日外国人集落を取り上げた過激な動画をインターネット上にUPしてしまいます。愛依は、殺到する誹謗中傷を複雑な気持ちで見ていましたが、動画の中に自身の大切な人「綾女おばあちゃん」の家を見つけ、動画を消してほしいとお願いしますが、既に動画は拡散し…。</p>
<p>「人権のすすめⅡ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■テレワーク時代のコミュニケーション編（約8分） ■アンコンシャス・バイアス&マイクロアグレッション編（約7分） ■心理的安全性編（約9分） <p>DVD・作品</p>	<p>職場における様々な困りごとや課題を「テレワーク時代のコミュニケーション（ハラスメント他）」、「アンコンシャス・バイアス&マイクロアグレッション（多様性他）」、「心理的安全性（人材育成・マネジメント他）」の3テーマで取り上げ、それぞれ、独立したミニドラマから「気づき」を通して考えていきます。多角的に人権問題やコミュニケーションの課題を学べる作品です。</p>
<p>誰ひとり取り残さないための職場の人権シリーズ② 「心をつなぐ、はじめの一步」</p> <p>DVD・26分 作品</p>	<p>この作品は、「ハラスメント」をはじめとした人権課題を切り口に、人は価値観や背景など一人ひとり違うということを理解し、認め合い、尊重する気持ちの大切さを主人公とともに学んでいきます。様々な人権課題を自分事としてとらえ、誰しもが、いきいきと働くためにはどういったコミュニケーションが必要なのか？このドラマを通じて「心をつなぐ、はじめの一步」を踏み出すヒントを見つけください。</p>
<p>「障害のある人の気持ち 私たちの一步」</p> <p>DVD・18分 作品</p>	<p>障害のある人が障害のない人と同じように生活できるよう、それぞれの障害特性や困りごとに合わせて行われる合理的配慮が、令和6年4月1日より、民間事業者にも義務付けられることになりました。本作品では、実際に車いすを体験した二人の中学生のレポートと、パラアスリートのインタビューを通じ、障害のある人がどのような手助けを必要とされているのか、私たちに何ができるのか考えていきます。</p>